

横浜市立西寺尾小学校 総合的な学習の時間「自分づくりの力」の育成を目指して  
 ～人・もの・こととの「かかわり」の中で、「見付ける・考える・表す・つなげる」子どもの姿を求めて～

# 西寺尾のまちのかるたで、みんなをハッピースマイルにしよう😊

日時: 令和3年6月18日(金)第4校時  
 場所: 3年1組教室  
 授業者: 木嶋 優水

## 1 単元について

**活動に向かう子どもの思いや願い**

子どもたちは、3年生になって始まった社会科の学習で、まち探検に繰り返し行っている。自分たちが暮らしている西寺尾のまちには、素敵な人や、魅力的なもの、きれいな景観があるなど、様々なよさに気付いている。

また、本学級では休み時間に、百人一首や、横浜市や他の市区町村の郷土かるたで遊んでいるため、自分たちのまちのよさを多くの人に知らせたいという思いをもっている。

そして、自分たちも楽しむことができ、小さな子どもから高齢者まで楽しむことができるような活動をする中で、西寺尾で暮らすまちの人を「ハッピースマイル」にしたいという願いをもっている。

**身に付けたい力と材について**

かるたは幼児から高齢者まで世代を問わず多くの人が楽しむことができる材である。西寺尾のまちのかるたをつくったり、かるたで遊んだりする活動を通して、自分たちの暮らしている西寺尾のまちや、まちの人の魅力を再発見し、西寺尾のまちに対する愛着を深めていってほしい。

また、かるたは、繰り返し西寺尾のまちとじっくりかかわりながら、伝えたい内容や表現を吟味していく中で、短い文章や簡単な絵で伝えたいことを表現することになる。そうした活動を通して、課題を設定し解決方法や手順を考える力を身に付けさせたい。

本単元は「景観まちづくり学習」の要素を含む。行政職員とのかかわりからも、まちのよさについて多面的に捉えられるようにしたい。



### 単元目標

西寺尾のまちのかるたをつくって遊ぶ活動を通して、西寺尾のまちには、今まで気が付かなかったよさをもっとあることに気づき、西寺尾のまちに関わる人の思いや願いを考えるとともに、進んで西寺尾のまちや、まちの人とかかわり、自分たちのまちを大切にしようとする。

### 探究課題の解決を通して育てたい資質・能力

探究課題	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
そしてまちとのつながり かるた作りで実感するまちの特徴やよさ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西寺尾のまちには、歴史のある店や、人情溢れる魅力的な人々がいることが分かる。</li> <li>・まちに住む人や店で働く人は、思いや願いがあり、それを実現しようと努力や工夫をしていることが分かる。</li> <li>・かるた大会のようなイベントを開くことは、自分とまちの人、まちの人同士など様々なつながりを生み出すことが分かる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西寺尾のまちについて実際に調べたり、まとめたりする中で課題を設定し解決方法や手順を考える。【課題の設定】</li> <li>・西寺尾のまちの魅力を伝えるために、まちにインタビューに行き、まちの魅力について調べる。【情報収集】</li> <li>・比較したり、分類したり、関連付けたりしながら、調べた魅力を整理し、西寺尾のまちの魅力を捉えなおす。【整理・分析】</li> <li>・根拠をもって自分の考えをもち、伝えたい西寺尾のまちの魅力が伝わるように工夫しながら表現する。【まとめ・表現】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分から進んで西寺尾のまちや人とかかわり、西寺尾のまちのよさをカルタに表現しようとする。</li> <li>・かるたで遊ぶことや、かるた大会を通して、多くの人とふれあうことのよさに気づき、西寺尾のまちの人と進んでかかわっていかうとする。</li> <li>・西寺尾のまちのために力を尽くしている方に心を寄せ、その思いに共感している。</li> </ul>

## 2 研究の視点(テーマに迫る手立て)

「自分づくりの力」の育成を目指して

～人・もの・こととの「かかわり」の中で、「見つける・考える・表す・つなげる」子どもの姿を求めて～

### (1)本単元における「自分づくりの力」の育成

西寺尾のまちのかるたをつくるにあたって、西寺尾のまちに関わる人との出会いを通して、子ども自身が様々なことを感じ、気づき、課題を自ら見付け、学習に粘り強く取り組む力を育てたいと考える。また、課題解決の過程で、まちの人や、行政職、専門家などに関わることで、まちの人のまちに対する思いを知り、学びを深められるようにしたい。

### (2)「見つける・考える・表す・つなげる」子どもの姿を引き出す指導と評価の工夫

#### ○社会科の学習と関連させた、人・もの・こととのつながりを意識したまちのよさ発見(見つける)

本単元は社会科のまち探検から派生している。自分たちが住んでいるまちにどのような「もの・こと」があるのかを調べ、それにかかわる「人」と積極的にかかわる中で、西寺尾のまちにはたくさんのよさがあることに気付くようにしたい。

#### ○思考ツールを活用した、情報の整理・分析(考える)

今年度から一人一台端末が配付されたこともあり、総合的な学習の時間だけでなく、様々な教科の中で思考ツールを取り入れていきたいと考える。「ベン図」「ピラミッドチャート」「Yチャート」「マトリクス表」など、必要に応じて使い分けができるようにしていきたい。

#### ○「西寺尾のまちのみんな」を笑顔にするための相手意識(表す)

本単元では西寺尾のまちのかるたづくりを通して、「西寺尾のまちのみんな」を笑顔にしたいという目標がある。幼児から高齢者まで、全ての年齢層の人が楽しむことができるようにするために、短い文章でまちのよさを表現したり、簡単な絵でしっかりと自分たちの伝えたいものが表現できるような絵の工夫を考えたりして、相手意識をもった課題解決の力を育てたい。

#### ○相手意識を大切にした課題設定(つなげる)

単元全体を通じて、3年2組→学校全体→地域の人といったように、段階的に発表の場を設定することで、伝えたい相手によって必要な情報を整理して、その都度課題設定ができるようにしたい。

## 3. 基本構想

### 西寺尾のまちのかるたで、みんなをハッピースマイルにしよう😊

(全95時間 総合70 国語10 社会15)

社会科のまち探検で、西寺尾のまちには、おすすめのものたくさんあったよ。  
まち探検で出会ったまちの人以外にも、もっと多くの人とかかわってみたいよ。  
百人一首や、他の横浜市や市区町村の郷土かるたが楽しいよ。

#### 1 『西寺尾の時間』で何をするか考えよう！ (総合3時間 社会8時間)

- 『西寺尾の時間』では、どのような力を身に付けていくのかを知る。
- 3-1の『西寺尾の時間』では、どのような姿になりたいか考える。
- 3-1の『西寺尾の時間』で学習することを考える。

まずは、西寺尾のまちのかるたを作ってみよう。でもどうやったらかるたを作ることができるんだろう。

#### 2 おためして、西寺尾のまちのかるたをつくってみよう！ (総合22時間 国語1時間 社会7時間) (※本単元)

西寺尾のまちのかるたをつくって遊んでみたら楽しかったけど、本当に西寺尾のまちのよさが伝わっているのだろうか。もっとレベルアップしたかるたをつくりたいな。

#### 3 西寺尾のまちのよさが伝わるかるたをつくろう！ (総合30時間 国語4時間)

- まちのよさがテーマのかるたをつくるためにはどうしたらよいか考える。
- かるたの絵札を効果的に描く工夫について考える。
- まちの人々の思いについて考える。

読んでいて楽しくなるような文章や、見てすぐに分かるような絵を描くと、西寺尾のまちのよさが伝わるね。完成したかるたで、今までお世話になったまちの人や西寺尾小学校の人たちに楽しんでもらいたいな。

**4 かるた大会を開いて、西寺尾のまちのよさを広めよう！** (総合15時間 国語5時間)

- かるた大会の運営をし、今までにお世話になった地域の人や、西寺尾小学校のみんなを「ハッピースマイル」にしよう。
- まなびのひろばで、これまでの歩みを保護者の方に向けて発表する。
- 学習を通して、どんなことが分かったか、どんな自分になれたかをふりかえる。

西寺尾のまちのかるたをつくることで、西寺尾のまちのよさや人の思いに気付くことができた。これからも西寺尾のまちのよいところをもっと見付けていきたい。

**4 小単元構想**

**(1) 本小単元の評価規準**

知識・技能	思考力、判断力、表現力等	主体的に学習に取り組む態度
・西寺尾のまちには、魅力ある場所や、人の存在があることに気付き、西寺尾のまちについて調査活動を行っている。	・西寺尾のまちのかるたをつくるために、どのような方法で情報を集めたらよいかを考え、調査活動を通して必要な情報を集め、整理・分析している。	・西寺尾のまちのよさについて、友達と調査活動や話し合いを繰り返し行い、友達と協働して学び合おうとしている。

**(2) 小単元目標**

「西寺尾のまちのかるたをつくりたい」という思いの実現に向けて、西寺尾のまちのよさを調べる活動を通して、西寺尾のまちには魅力ある場所や、人の存在があることに気付き、集めた情報から、西寺尾のまちのよさを伝えるかるたをつくるために大切にすることを考え、友達と協働して学び合うことができる。

**(3) 小単元展開**

**2 おためしで、西寺尾のまちのかるたをつくってみよう！ ㉗**

**学習課題** かるたはどうやってつくったらいいだろう。 ㉘

おためしでつくってみたかるたを紹介し合い、なぜそのかるたをつくったのか、思いを伝え合う。(本時)

- ・まずはつくってみたいな。どこにしようかな。
- ・まち探検で行ったあの場所のことを紹介したいな。
- ・どんな言葉にしようかな。楽しかったことが伝わるようにしたいな。

**学習課題** かるたづくりの計画を立てよう。 ㉙

西寺尾のまちのよさを伝える かるたをつくるにあたって、どの場所から選ぶのか、何枚作るのかなど、かるたづくりの計画を立てる。

- ・いつも遊んでいる百人一首は20枚だけど、50音すべてで作ろうか？ 多すぎても時間がかかってしまうよ。
- ・どの場所からどのくらいの枚数をつくろうか。
- ・まちのよさを伝えるために、絵はパスで描く？クレープで描く？写真だと上手く伝わらないかな。

**学習課題** かるたをつくるために、西寺尾のまちのよさを調べよう。 ㊀

西寺尾のまちのよさを伝えるかるたをつくるために、一人ひとりが 関心のある 場所を調べる。

- ・出会った人のことについて紹介したいな。
- ・たくさんいいところがあるけど、私が伝えたい場所はここかな。
- ・どうやって描いたら、西寺尾のまちのよさが伝わるかな。

**学習課題** 出来上がったかるたをためしてみよう。 ㊁

完成したかるたで遊び、今後の改善すべき点について考える。

- ・3年2組にお願いして遊んでほしいな。
- ・「ハッピースマイル」になっていたけど、絵札が分かりにくいって言われたな。
- ・もっと西寺尾のまちのよさを伝えるためにはどうしたらいいだろうかな。

## 5 本時について【修正版】

### (1)本時目標

試しにつくってみたかたるを紹介し合うことを通して、西寺尾のまちのよさがたくさんあることに気づき、もっと詳しく知るために、まち探検に行きたいという意欲をもつことができる。

### (2)本時の展開 (5/5時)

予想される子どもの活動と反応	手立て ★評価規準
<p>① 前時までの学習をふりかえり、本時の流れを確認する。</p> <p style="text-align: center; border: 1px dashed black; border-radius: 15px; padding: 5px;">おためしでつくったかたるを、紹介しよう。</p>	<p>・授業開始前までに、子どもたちが作成したかたるをデータ化し、ロイロノート上で共有し、テレビ画面に映せるようにする。</p>
<p>② おためしでつくってみたかたるを、全体で伝え合う。</p> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 50%;"> <p>○人との出会い</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・せせらぎ緑道を掃除していた土木事務所の人</li> <li>・大口商店街の、つるや洋品店の店長</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 50%;"> <p>○綺麗な景色</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・松見みはらし公園の坂を上った後に見えた景色</li> <li>・せせらぎ緑道の木に太陽の光がさしている景色</li> <li>・せせらぎ緑道の奥の滝のような場所</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 50%;"> <p>○自然の魅力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・せせらぎ緑道のコイ</li> <li>・せせらぎ緑道の水の音</li> <li>・様々な色のあじさい</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 50%;"> <p>○公園のこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入江川公園には、昔はプールがあった。</li> <li>・入江川公園には70年以上前の木の切り株が残っている。</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 50%;"> <p>○キャラクター</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・神の木ちゃん</li> <li>・わにえもん</li> <li>・かばのだいちゃん</li> </ul> </div> </div>	<p>・テレビ画面で、子どもたちが作成したかたるを共有できるようにする。</p> <p>・実物のかたるも前面に掲示する。</p> <p>・友だちの紹介を聞く前に、今後かたるを作るにあたって、大事にしたいと思ったところや、友だちがどのようなことを伝えたいと思ったのかに気を付けて聞けるように、観点を示す。</p> <p>・ハンドサインを用いた相互指名を行い、話し合いを効果的にする。</p> <p>・前時までに子どもが気付いたり考えたりしていることを、活動の様子や学習カード等で把握し、必要に応じて意図的な指名につなげる。</p>
<p>③ 友だちのかたるの紹介を聞いて、いいなと思ったところを伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友だちの紹介を聞いて、楽しい気持ちになったよ。</li> <li>・初めて知ったこともあった。</li> <li>・見ていて、元気になった。</li> </ul> <p>④ これまでに出了意見をまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・せせらぎ緑道にはたくさんの生き物が住んでいて、楽しくなるね。</li> <li>・松見みはらし公園には坂が大変だけど、いい景色があるね。</li> <li>・神之木公園には、神の木ちゃんがいるし、自然もいっぱいあるね。</li> </ul>	<p>・子どもが作成したかたるのコピーを縮小して板書に掲示する。</p> <p>・キーワードを、人・自然・景色などのテーマごとに分類して板書する。</p> <p>・絵のきれいさではなく、友だちのかたるの紹介を聞いて、感じたことに焦点をあてられるように適宜切り返して発問する。</p>
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">西寺尾のまちには、よさがいっぱいある。</p>	
<p>⑤ 次にやりたいことを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友だちのかたるを見たから、出会った人についてのかたるをつくってみたいな。</li> <li>・インタビューをしてみたいな。</li> <li>・松見八幡公園や、大口商店街のかたるをつくりたいな。</li> <li>・もう一度まち探検をしたいな。</li> </ul>	<p>★もっと、西寺尾のまちのよさが伝わるかたるをつくるために、もう一度まち探検に行きたいという思いをもつ。</p> <p>(主体的に学習に取り組む態度)</p> <p style="text-align: right;">【発言・学習カード】</p>
<p>⑥ 今日のふりかえりを記入する。</p>	

① 学習指導案

② 事業実施報告書詳細

別紙指導案参照

③ 実施内容について

<p>(1) 実施にあたり工夫した点</p> <p>○導入にあたって</p> <p>社会科のまちたんけんをきっかけに、自分たちの住んでいるまちの魅力について目を向けることができるように、地図に見つけたものをまとめていった。そしてかるたを実施するにあたって、事前に百人一首や他地域の郷土かるたに存分に触れて楽しむ時間を取った。</p> <p>○多様な人との関わり</p> <p>地域かるたを作るにあたって、多様な人との関わりを大切にしたい。実際に、本学級では、かるたの絵を上手に描くために図画工作科担当の教員と多く関わった。他にも横浜市都市整備局地域まちづくり部景観調整課と連携し、一緒にまち探検を行ったり、かるた作家と連絡を取り、かるた作りのアドバイスを聞いたりといった関わりを大切にしたい。このように多様な人との関わりによって、年間を通じての活動が豊かになったと考える。</p>
<p>(2) 実施にあたり苦労した点</p> <p>実施にあたり苦労した点は、かるた作りを年間を通して総合的な学習の時間に位置づけることである。かるた作りを子どもが課題意識をもつ必要感のある活動となるよう単元をデザインすることに苦労した。(詳しい単元計画については指導案を参照。)</p>
<p>(3) 児童の反応</p> <p>何度も繰り返しまちと関わることで、子どもたちは地域の魅力を実感することができたと思う。そして完成したかるたで実際に遊ぶ際には、自分の作った札を自分の目の前に並べて、「これが自分の札。」と、親しみをもっている姿が見られた。</p>
<p>(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化</p> <p>地域のかるたを作る活動を通して、学校の周りには魅力が再発見することができた。かるた作りを通して多くの教職員が関わったため、西寺尾のまちの魅力について本校の職員全体に多く伝えることができたのではないかと考える。</p>
<p>(5) 今後の課題と取り組み〔児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等〕</p> <p>児童の思考過程からは、何回もまち探検に行くことが有効だったと考える。繰り返し、まちと関わっていくことでまちに愛着をもち、かるたで伝えたいという思いを育むことができた。</p> <p>留意すべき事項としては、まちのかるたを表す際に、まち全体をバランスよく取り上げるために、なるべく偏りが出ないように意識すること、何度も試行錯誤を重ねて制作することである。そのためにも相手意識・目的意識を明確にして取り組むよう指導することが大切である。</p>